



Official TEST Report 2024/7/7～8 FUJI Speedway 2nd Official test

シーズン折り返しとなる夏の富士スピードウェイ戦を前にスケジュールされる第2回公式テスト富士スピードウェイ。2日間共に気温30度超、路面温度は50度を超えるまるで梅雨明けしたような酷暑の中、週末には多くのファンを迎えて開催された。

テスト初日、比較的ダウンフォースを減らすセットアップになる富士スピードウェイにおける、コントロールダンパーで初めての走行でありまた、気温路温ともに上昇する中盤戦のコンディションに向け、足回りのセットアップメニューを主に精力的に走り込む。

多くのメニューを準備しテストならではのトライを繰り返し、牧野選手は後続に0.3秒の差をつけてトップタイムを記録、太田選手3番手で1日目を終えた。

2日目も積極的に走り込みを行う。新たなセットアップや空力関連のテストメニュー、ロングランに予選アタックやスタート練習、ピットストップ練習などを消化する。

特にロングランでは、牧野選手は常にトップクラスのタイムを記録。太田選手も好タイムで高温下の車の挙動変化やタイヤの使い方など、様々なメニューを順調に消化することが出来た。

最終セッション4後半の予選アタックシミュレーションでは、路面コンディションの変化からタイムを純粹に比較できないものの、牧野選手はタイムアップした中で3番手タイムを記録。

牧野選手、太田選手それぞれに持っていた問題点について一定の評価を得ると同時に、新たな課題も見つかり、シーズン中盤に向けて手ごたえのある実り多きテストとなった。

5 : 牧野任祐 選手 総合 2 位

2日間トラブルなく様々なことを試すことが出来た非常に前向きなテストになりました。

以前からトライしたかったセットアップの確認とダメ出しもでき、良いところ、悪いところ多くの確認が出来ました。コントロールダンパーや高温下での車の理解も進み、夏の中盤戦に向けて非常に良い準備ができたと感じています。

2週間後の次戦 Rd4 富士スピードウェイに向け、チームと密に準備して臨みます。

6 : 太田格之進 選手 総合 12 位

多くのメニューを消化し、充実した2日間のテストとなりました。

良い部分も多くありましたが、全体を通してみると、まだトップとの差は大きいと感じています。細かな部分でもう少し突き詰めることが出来ればもう一段レベルを上げることが出来ます。牧野選手のテスト結果と照らし合わせ、中盤から後半戦に向けて、表彰台そして2勝目を目指せるように頑張ります。